

令和3年度「通信技術」シラバス

| | | |
|----|----|----|
| 校長 | 教頭 | 教頭 |
| | | |

| | | | | | |
|-----|------|-----|------------|-----|------------|
| 科目名 | 通信技術 | | | 教科名 | 工業（情報通信系列） |
| 学年 | 3年 | 単位数 | 4単位（140時間） | | |

1 科目「通信技術」について

| | |
|---------|---|
| 学習の到達目標 | (1) 通信技術に関する基礎的な知識と技術を習得する。 (2) 習得した知識と技術を実際に活用できるようにする。 |
| 使用教科書 | 実教出版 通信技術新訂版 |

2 科目全体の評価の観点の趣旨

| 関心・意欲・態度 | 思考・判断 | 技能・表現 | 知識・理解 |
|--|--|---|---|
| ・通信に関する技術に興味・関心をもっている。 ・情報の加工・伝送に関する学習に取組、活用する意欲をもっている。 | ・通信技術について論路的な考え方ができる。 ・基礎知識を正確に理解し、発展的な考え方ができる。 | ・通信に利用されている技術を正確に理解し、発表したり報告書を作成できる。 ・基本的な回路の製作や信号波形の観測などを正しく行うことができる。 | ・有線、無線、画像通信に関する知識が身についている。 ・入出力機器に関する基礎知識が身についている。 ・通信関係法令の概要を理解している。 |
| 出席状況、提出物 平常の学習活動 学習態度、自己評価 | ペーパーテスト 観察力 | 発表表現能力 文章表現能力 | ペーパーテスト レポート内容 |

3 観点別学習状況の評価の数量化

| 評価 | 内容 | 判定基準 | 得点 |
|----|--------------------|---------|----|
| A | 十分に理解できていると判断されるもの | 80%以上 | 3 |
| B | おおむね満足できると判断されるもの | 50%～79% | 2 |
| C | 努力を要すると判断されるもの | 50%未満 | 1 |

4 各学期及び学年の評価方法

各学期及び学年はシラバスで記載する。また、5段階評価においては以下の通り

| 評価内容 | 100点法 | 5段階評価 |
|-------------------------------|--------|-------|
| 十分満足できると判断されるもののうちで、特に高い程度のもの | 100～81 | 5 |
| 十分満足できると判断されるもの | 80～66 | 4 |
| おおむね満足できると判断されるもの | 65～51 | 3 |
| 努力を要すると判断されるもの | 50～35 | 2 |
| 努力を要すると判断されるもののうち、特に程度の低いもの | 34～0 | 1 |